



2026年5月号 (No.37)

多気町立図書館だより

TEL:0598-38-1133 (多気図書館)

TEL:0598-49-4500 (勢和図書館)

<https://www.town.takimiie.jp/library/index.html>



『日本国憲法』
『あたらしい憲法のはなし』
皇族編集委員会編 皇族院 (323)

私たちの生活を支える憲法を再認識。ぜひ改めて手に取ってませんか？



いわさきちひろさんのやさしい絵とこーごにー。

『月よひさしの子どものつたえる日本国憲法』
月よひさし/文
いわさきちひろ/絵
講談社 (323)

多気図書館

5月のカレンダー

: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会 10:30~					1	2 おはなし会
3	4	5	6	7 振替休業	8 おはなし会 おもちや	9 おはなし会 ほけつこ
10	11	12	13	14	15 あちゃん おはなし会	16
17	18	19	20	21	22	23 おはなし会 ほけつこ
24 31	25	26	27	28	29 振替日	30

ブックスタート (のびのび) 5/22(金)10:00~

~コーナー紹介~

●逆タイムパフォーマンス コーナー

じ〜っくりと手の込んだものを作る。育てる。などの本をご紹介します。

時間がかかって仕方ない！
でもそれがいい！

勢和図書館

5月のカレンダー

: 休館日

日	月	火	水	木	金	土
おはなし会 10:30~					1	2
3	4	5	6 おはなし会 (0歳)	7 振替休業	8	9 おはなし会
10 ほんとかフェ	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20 おはなし会 (1~3歳)	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29 振替日	30 おはなし会 & 工作

~ イベント 紹介 ~

●新緑のほんとかフェ

と き:5月10日(日)10:30~16:00
10:30~新緑のおはなし会
11:00~「むすびやとく」さん登場
14:00~ジャズコンサート

コラボ:幸せの太陽・パンさん Oyatsuya+109さん
コーヒー:金川珈琲さん

●音読講座~健康寿命、延ばします ※要申込

と き:5月21日(木)10:00~ 申込受付5/8~

●おはなし会&工作ワークショップ

と き:5月30日(土)10:30~
※要申込 申込受付5/2~

FB・Insta→「多気町立勢和図書館」

が「seiwablib」で検索



5月のおすすめ本



『世界の「なぜ？」がまるわかり！面白すぎる地理の話』 滝波一誠:著

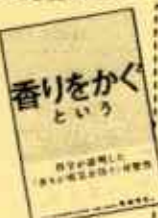
産業編集センター (290.4)

地理とは「地球上の理(ことわり)」を解き明かす学問。世界のなぜ？を地理的な特徴だけでなく、歴史、経済的な背景など多方面から楽しく解説してくれています。フランスパンはなぜ硬いのか？ペンギンはなぜ、南半球にしかいないのか？など興味のあるところから読むことができます。思わず、へえ〜と声を出してしまうこと間違いなし！

『原発のない町へ』 柴原 洋一:著 月兎舎 (369.3)

福島第一原発の事故により、三重県へ自主避難してこられた方々がお話していただきます。住み慣れた地を離れ、遠い地に避難することを選んだ彼らはどんな思いを抱え、何を大切に今の生活を送っているのでしょうか。

月日と共に、我々に届く情報が少なくなっていますが、まだ何も解決されていない。決して他人事ではない。という現実を思い返させてくれます。



『香りをかくという最強の健康法』 財源 信宏:著 アスコム (491.3)

タイトルをみてなんて簡単な健康法！って思いませんか？でも、香りが人体に与える影響についての研究はまだまだ日も浅いようです。それでも、香りが私たちの脳に直接届き、気分や感情はもちろん、病気を防ぐ可能性があることがわかってきているのです。とって手軽にできるので、お気に入りの香りをみつけて生活に取り入れてみるのもいいですね。

『日日是植物』 いとうせいこう:著 マガジンハウス (620.4)

自称素人園芸家のせいこうさん。自宅のマンションのベランダと室内でたくさん植物とともに生活を送っています。家族から嫌な顔をされつつも、つつい増えていく植物たち。

植物に集まってくる虫たちを小さな息子さんとともに観察したり、時には食中植物に虫を与えようとしてみたり…

ここ数年の異常な暑さの中、枯れていく植物に心が折れかけるせいこうさん。それでもせいこうさんの植物への愛は止まりません！



『青春といく』 永井紗耶子:著 KADOKAWA (F913.6)

江戸時代。儒学者・海保青陵が亡くなった。弟子の弥兵衛は兄弟子とともに、青陵ゆかりの人々を訪ねる旅に出る。

人々によって語られる青陵の過去や細い。そして明らかになる真実とは…！自由を追い求め生きた、実在の人物をモチーフにした爽やかな物語です。

『絵のない絵本』 ハンス・クリスチャン・アンデルセン:作 岩波書店 (児 949)

ひとりぼっちの若い絵かきのもとへ、夜ごと友だちのお月さまがたずねてきます。月はそのまなざしに映った風景や人々の暮らしを絵かきに語って聞かせます。アンデルセンの子どものためのおとぎ話です。休日の読書にぜひ。

